

## 第百六十九宗議会 宗務総長挨拶

宗務総長 増田修誠

慈光照護のもと 御住職皆様におかれましては、益々ご清祥のことと拝察申し上げます。

さて、涅槃会法会・春の各法会（讚佛会、仏足石・釈迦三尊法会、十万人講法会、戦没者追弔法会）等々、本山各仏事行事も新型コロナウイルス感染症の感染拡大という状況を重く受け止め、安全を鑑み、縮小にて営ませていただいたところであります。

しかしながら、日々刻々と感染症拡大の一途をめぐるニュースは、政府より緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛、感染症拡大防止等を踏まえて

第百六十九宗議会開催方法につき対応が必要となり、宗議会議長、議会運営委員長、議会事務局長

並びに内局三名のもと、緊急の検討会議を行い、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い宗議会招集が困難と予想され、宗議会議員並びに本山役職員への感染症防止のため御検討を願ひ、第六十九宗議会を書面（書面表決書）による議会に替える旨の特例として審議いただき、宗報号外により宗達並びに宗告を全寺院へお知らせ申し上げたところであります。

宗議会議員各位皆様に、第六十九宗議会議案書(案)を送付申し上げ、さる五月二十八日に宗議会議長、監正局長、関係者立会のもと、返送賜りました書面（書面表決書）による慎重採決をいただき、「令和二年度真宗高田派歳入歳出予算」等全七議案の可決をいただきました。宗議会議員各位皆様に御理解御協力賜りましたこと改めて感謝申し上げます。

今後とも宗門護持のために、より一層のお力添えいただきますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

宗 達

宗 達 第一一四三号

法主殿来る令和二年十一月十九日午後一時三十分より真宗高田派専修寺福井別院報恩講に御親修御親教相成  
る

令和二年五月二十一日

法主鈴印

宗務総長 大僧都 増 田 修 誠

宗 告

宗 告 第一〇九一号

来る令和二年八月一日より同五日まで第九十四回佛教文化講座を開講する

令和二年六月四日

宗務総長 大僧都 増 田 修 誠  
総 務 中僧都 藤 谷 知 修  
総 務 中僧都 真 置 和 徳

宗 告 第一〇九二号

来る令和二年八月十四日より同十六日まで歓喜会執行相成る

令和二年六月四日

宗務総長	大僧都	増	修
総務	中僧都	藤	知
総務	中僧都	真	和
		置	徳
			徳

任 免

令和二年四月二十八日

依請解其職 財務部財務課課長 本堂 千晃

依請解其職 選挙管理委員 録事 多賀 孝頭

令和二年五月一日

財務部財務課課長を命ずる 財務部財務課 鬼頭 伸子

依請解其職 選挙管理委員会事務局を命ずる 録事 塩崎 慶脩

令和二年五月三十一日

依請解其職

庶務部参拝課課長

上田 隆順

依請解其職

福井別院事務局長

畑 和光

令和二年六月一日

補 神戸別院輪番

常善寺住職

真鈴川暉明

依請解其職

神戸別院輪番

福田 洋山

庶務部庶務課勤務を命ずる

録 事

上田 隆順

庶務部参拝課主任を命ずる

庶務部参拝課

藤澤 真樹

庶務部参拝課勤務を命ずる

勝樂寺衆徒

千賀 光真

開山親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年

・中興上人五百年忌・聖徳太子千四百年忌奉讃法会

特別法要事務局局員を命ずる

延命寺衆徒

藤田 朋樹

福井別院事務局長を命ずる

稱名寺衆徒

佐々木浄證

組長交代

令和二年三月三十一日

愛知第七組組長を命ずる

願成寺住職

福澤 秀倫

依請解其職

愛知第七組組長

泉野 幸昌

令和二年五月三十一日

依請解其職

三重第十二組東部組長

村田 智教

令和二年六月一日

三重第十二組東部組長を命ずる

光善寺住職

堅田 光英

住職代務者

令和二年四月二十五日

新潟県中魚沼郡津南町

延命寺住職

柳澤 元昭

新潟県中魚沼郡津南町

補 長泉寺住職代務者・任 長泉寺代表役員代務者

令和二年五月二日

静岡県浜松市南区倉松町

静岡県掛川市西大渕

補 勝林寺住職代務者・任 勝林寺代表役員代務者

寿福寺住職

本多 正澄

祖師寿賞

信最寺住職

本立寺住職

即現寺住職

豊久寺前住職

因誓寺前住職

勝光寺前住職

浄現寺衆徒

法林寺衆徒

眞臺寺衆徒

浄圓寺衆徒

古江 信明

米澤 大寛

竹中 亮道

懸 妙豊

齋藤 正見

佐々木俊昭

石上 真正

里榮 妙戴

宮林 延秩

仁科 松翠

令和二年六月一日

北海道二海郡八雲町 大徳寺衆徒に転属を許可する

北海道小樽市住ノ江 浄暁寺衆徒 磯貝 佳紀

転属

本山表彰

久善寺住職

圓光寺住職

浄福寺住職

願正寺住職

良珠院住職

妙源寺住職

覚念寺住職

勝鬘寺住職

大徳寺住職

教津坊前住職

工藤 正英

小松 光肇

鈴木 紀生

佐々木雄玄

江上 文雄

安藤 明信

佐々木唯昭

長井 眞見

磯貝 靖紀

伊藤 紀道

褒賞

令和二年五月二十一日

本山褒賞

慈光寺住職

寶幢寺住職

北海道別院佑事

神戸別院責任役員

藤山 眞哉

佐々木泰秀

朝妻 慈勝

山本 正男

# 布教任命

四月二十一日より五月十四日まで、新型コロナウイルス対策の為、中止とさせて頂きました。

## 第二十三世堯祺上人御正当

五・六	速夜	権少僧都	真置 信海
五・七	晨朝	権中僧都	藤田 正知
五・八	日中兼速夜	律 師	若林 妙百
五・八	晨朝	少僧都	長谷部行雄
五・八	日中	少僧都	千草 篤昭

五・二一	親鸞聖人降誕会 日中	権大僧都	真昌 智海
------	---------------	------	-------

## 五月御影堂常在説教（晨朝）

五・一	権中僧都	里榮 秀教
五・二	律 師	山中 久行
五・三	大律師	北島 大道
五・四	権中僧都	田中 明誠
五・五	権中僧都	鷲山 了悟

東照寺前住職	齋藤 瑞亮
善友寺前住職	平田 允誠
彰見寺副住職	小妻 妙宏
一乗寺衆徒	市橋 弘道
安楽寺坊守	吉田 知子
大空寺坊守	戸田ヤスエ
壽林寺坊守	長 惠美子
松仙寺前坊守	的屋 孝子
光善寺前坊守	堅田 恭子
西蓮寺前坊守	東端 敏江
西生寺前坊守	橋本 森枝

上宮寺住職	清水谷博祇
常超院住職	藤源 清光
浄光寺住職	黒田 廣顕
珠光寺住職	鳴海 賢昌

住職在職五十年  
（裏頭授与）

五・六	律師	隆	妙灑						
五・九	律師	北畠	心淳	五月御影堂常在説教(逮夜・日中)	逮夜	權少僧都	高藤	英光	
五・一〇	權少僧都	真置	信海	五・一〇	日中	權少僧都	高藤	英光	
五・一一、一二	權中僧都	田中	明誠	五・一五	逮夜	少僧都	山中	真諭	
五・一三	權中僧都	中村	宜成	五・一六	日中	律師	隆	妙灑	
五・一四	少僧都	岡	知道	六月御影堂常在説教(晨朝)					
五・一五	少僧都	山中	真諭	六・一		權中僧都	藤田	正知	
五・一六	大律師	高島	光憲	六・二		權中僧都	鷺山	了悟	
五・一七	權少僧都	真置	信海	六・三		權中僧都	田中	明誠	
五・一八	權中僧都	栗廼	隆興	六・四		權中僧都	里榮	秀教	
五・一九、二〇	中僧都	青木	義成	六・五		權中僧都	梅林	清香	
五・二一	少僧都	山中	真諭	六・六		律師	隆	妙灑	
五・二二	律師	隆	妙灑	六・七		權大僧都	東雲	正乘	
五・二三	律師	田中	唯聰	六・八		律師	北畠	心淳	
五・二四	大僧都	上田	隆順	六・九		律師	古芝	智泉	
五・二五	權中僧都	中村	宜成	六・一〇		少僧都	山中	真諭	
五・二六	權大僧都	浦井	宗司	六・一一		少僧都	岡	知道	
五・二七	中僧都	佐藤	弘道	六・一二		大僧都	上田	隆順	
五・二八	少僧都	上田	英典	六・一三		中僧都	佐藤	弘道	
五・二九	中僧都	青木	義成	六・一四		大律師	高島	光憲	
五・三〇	少僧都	青木	妙法	六・一五		權中僧都	中村	宜成	
五・三一	大律師	北畠	大道						



六・一六	少僧都	山中	真諭
六・一七	律師	隆	妙灑
六・一八	権中僧都	村上	英俊
六・一九	大律師	北畠	大道
六・二〇	律師	田中	唯聰
六・二一	律師	若林	妙百
六・二二	権少僧都	真置	信海
六・二三	権中僧都	田中	明誠
六・二四	少僧都	上田	英典
六・二五	権中僧都	中村	宣成
六・二六	権大僧都	浦井	宗司
六・二七	権中僧都	生桑	崇等
六・二八	中僧都	青木	義成
六・二九	少僧都	青木	妙法
六・三〇	大律師	塩崎	慶脩

六月御影堂常在説教（日中）

六・七	速夜	大律師	北畠	大道
六・八	日中	権少僧都	真置	信海
六・九	速夜	中僧都	青木	義成
六・一〇	日中	中僧都	青木	義成
六・一五	速夜	権少僧都	高藤	英光

六・一六 日中

権少僧都

高藤 英光

高田慈光院 月例法会

五・一〇

律師

若林 妙百

五、一六、二六

律師

隆 妙灑

六・一〇、一六、二六

少僧都

山中 真諭

報徳園 月例法会

五・一五

少僧都

千草 篤昭

六・一五

少僧都

千草 篤昭

敬 弔

次の方々が御往生なさいました。謹んで敬弔の意を表します。

令和二年

栃木県真岡市高田

本寺専修寺衆徒

谷畑 高伸

四・二十三 福井県坂井市三国町

實明寺住職

大沼 慧照

贈 大律師

四・二十九 三重県鈴鹿市国分町

光福寺住職

花木 光道

贈 大律師

五・十 愛知県岡崎市両町

祐傳寺前住職

柴田 規暁

贈 大律師

五・二十六 愛知県あま市蜂須賀

西光寺前住職

友松 孝丸

贈 大律師

六・四 三重県津市河芸町

啓運寺坊守

高倉 妙伸



## 第169 宗議会報告

本議会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、議員並びに本山役職員への感染防止のため5月27日書面表決書にて行った。

翌日5月28日に議長、監正局長立会いのもと採決を行い「令和2年度真宗高田派歳入歳出予算」等全7議案が可決された。

可決議案及び報告事項は次のとおりである。

## 第169 宗議会議案

- 議案第1号 令和2年度 真宗高田派歳入歳出予算  
議案第2号 令和2年度 専修寺歳入歳出予算  
議案第3号 令和元年度 特別法要歳入歳出補正予算  
議案第4号 令和2年度 特別法要歳入歳出予算  
議案第5号 令和2年度 真宗高田派共済会歳入歳出予算  
議案第6号 令和2年度 高田派法主褒賞特別会計歳入歳出予算  
議案第7号 令和2年度 専修寺聖教保存修理特別会計歳入歳出予算

- 報告事項 1、宝物館建設について  
2、明日香邸坊官屋敷について

上記のとおり提出します。

令和2年5月26日

宗務総長 大僧都 増田 修誠  
総務 中僧都 藤谷 知良  
総務 中僧都 真置 和徳

議案第1号

## 令和2年度 高田派歳入歳出予算

自 2.6.1  
至 3.5.31  
(単位 円)

歳入の部

科	目	2年度予算額	元年度予算額	元年度決算見込
1.	宗教活動収入	[ 128,200,000]	[ 133,700,000]	[ 128,527,000]
1.	冥加金	( 12,300,000)	( 12,800,000)	( 13,200,000)
1.	僧侶冥加金	5,800,000	5,800,000	5,870,000
2.	その他冥加金	1,500,000	2,000,000	1,480,000
3.	礼録金	5,000,000	5,000,000	5,850,000
2.	懇志金	( 22,500,000)	( 25,500,000)	( 24,757,000)
1.	報恩講懇志金	13,500,000	13,500,000	13,500,000
2.	報恩講賽銭	3,000,000	3,000,000	3,283,000
3.	諸法要懇志金	3,000,000	5,000,000	4,674,000
4.	団参懇志金	3,000,000	4,000,000	3,300,000
3.	義納金	( 82,400,000)	( 82,400,000)	( 79,570,000)
1.	寺院賦課金	82,000,000	82,000,000	79,400,000

2. 過年度収入	400,000	400,000	170,000
4. 刊行物収入	( 11,000,000)	( 13,000,000)	( 11,000,000)
1. 刊行物収入	11,000,000	13,000,000	11,000,000
2. 資産管理収入	[ 500,000]	[ 1,950,000]	[ 1,680,000]
1. 資産運用収入	( 500,000)	( 1,950,000)	( 1,680,000)
1. 諸利子	500,000	1,950,000	1,680,000
3. 雑収	[ 11,000,000]	[ 11,000,000]	[ 14,000,000]
1. 雑収	( 11,000,000)	( 11,000,000)	( 14,000,000)
1. 雑収	11,000,000	11,000,000	14,000,000
4. 特定預金取崩収入	[ 57,670,000]	[ 140,000,000]	[ 140,000,000]
1. 引当金取崩収入	( 57,670,000)	( 140,000,000)	( 140,000,000)
1. 引当金取崩収入	57,670,000	140,000,000	140,000,000
5. 繰入金収入	[ 1,000,000]	[ 441,365,670]	[ 441,365,670]
1. 繰入金収入	( 1,000,000)	( 441,365,670)	( 441,365,670)
1. 専修寺回金	1,000,000	441,365,670	441,365,670
6. 前年度繰越収支差額	[ 0]	[ 20,000,000]	[ 20,000,000]

前年度繰越収支差額	( 0)	( 20,000,000)	( 20,000,000)
前年度繰越収支差額	0	20,000,000	20,000,000
合 計	198,370,000	748,015,670	745,572,670

## 歳出の部

科 目	2 年 度 予 算 額	元 年 度 予 算 額	元 年 度 決 算 見 込
1. 宗 教 活 動 支 出	[ 134,570,000]	[ 142,470,000]	[ 123,377,000]
1. 宗 教 活 動 費	( 78,680,000)	( 83,680,000)	( 76,543,000)
1. 報 恩 講 費	15,000,000	15,000,000	19,935,000
2. 諸 法 会 費	5,000,000	5,000,000	4,529,000
3. 講 社 補 助 費	8,000,000	8,000,000	5,042,000
4. 旅 費	4,000,000	4,000,000	3,810,000
5. 都 市 開 教 費	0	0	0
6. 扱 費	500,000	500,000	375,000
7. 宗 務 総 長 交 際 費	800,000	800,000	412,000
8. 山 内 清 掃 費	2,000,000	2,000,000	2,040,000
9. 諸 会 議 費	2,000,000	2,000,000	2,720,000
10. 事 務 費	1,900,000	1,900,000	1,728,000
11. 褒 賞 費	1,400,000	1,400,000	0
12. 団 参 扱 費	1,200,000	1,200,000	1,389,000



13. 広 報 事 業 費	20,000,000	25,000,000	23,000,000
14. 調 度 費	480,000	480,000	100,000
15. 出 版 費	3,000,000	3,000,000	2,370,000
16. 負 担 金	1,400,000	1,400,000	943,000
17. 修 繕 費	2,000,000	2,000,000	1,800,000
18. 刊 行 物 購 入 費	10,000,000	10,000,000	6,350,000
2. 宗 議 会 費	( 3,960,000)	( 3,960,000)	( 4,010,000)
1. 議 員 手 当 旅 費	2,800,000	2,800,000	2,800,000
2. 議 長 交 際 費	190,000	190,000	40,000
3. 議 会 事 務 局 費	190,000	190,000	166,000
4. 議 会 運 営 費	780,000	780,000	1,004,000
3. 監 正 局 費	( 380,000)	( 380,000)	( 294,000)
1. 監 正 局 会 議 費	290,000	290,000	294,000
2. 監 正 局 長 交 際 費	90,000	90,000	0
4. 教 学 費	( 18,480,000)	( 20,580,000)	( 15,569,000)
1. 教 学 研 究 費	1,600,000	1,600,000	1,342,000

2. 教 学 布 教 費	5,110,000	5,110,000	4,432,000
3. 出 版 広 報 費	3,150,000	3,600,000	1,661,000
4. 教 学 各 種 団 体 費	2,400,000	2,400,000	2,126,000
5. 婦 人 坊 守 教 化 費	2,600,000	3,450,000	2,865,000
6. 青 少 年 教 化 費	2,320,000	3,120,000	2,155,000
7. 檀 信 徒 教 化 費	1,300,000	1,300,000	988,000
5. 教 学 院 運 営 費	( 6,420,000)	( 6,970,000)	( 5,540,000)
1. 教 学 研 究 費	2,340,000	2,340,000	1,270,000
2. 調 度 費	250,000	800,000	440,000
3. 諸 会 議 費	3,830,000	3,830,000	3,830,000
6. 補 助 金 支 出	( 12,800,000)	( 12,800,000)	( 9,800,000)
1. 高 田 学 苑 補 助 金	1,100,000	1,100,000	1,100,000
2. 高 田 幼 稚 園 補 助 金	700,000	700,000	700,000
3. 本 寺 崇 敬 費	8,000,000	8,000,000	5,000,000
4. 高 田 会 館 補 助 金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
7. 管 理 費	( 12,000,000)	( 12,000,000)	( 10,020,000)

1. 消耗品費	1,700,000	1,700,000	1,500,000
2. リース料	100,000	100,000	50,000
3. 通信印刷費	4,000,000	4,000,000	1,270,000
4. 水道光熱管理費	5,300,000	5,300,000	5,100,000
5. 諸雑費	900,000	900,000	2,100,000
8. 公租公課	( 1,850,000)	( 2,100,000)	( 1,601,000)
1. 法人税	100,000	100,000	72,000
2. 消費税	500,000	500,000	279,000
3. 固定資産税	1,250,000	1,500,000	1,250,000
2. 人件費	[ 58,800,000]	[ 58,000,000]	[ 58,710,000]
1. 給料手当	( 58,800,000)	( 58,000,000)	( 58,710,000)
1. 諸給与	50,000,000	49,500,000	50,000,000
2. 日直宿直費	1,000,000	1,000,000	900,000
3. 通勤補助費	1,500,000	1,500,000	1,510,000
4. 福利厚生費	6,300,000	6,000,000	6,300,000
3. 繰入金支出	[ 1,000,000]	[ 1,000,000]	[ 1,000,000]

1. 繰入金支出	( 1,000,000)	( 1,000,000)	( 1,000,000)
1. 高田派共済会回金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
4. 資産取得支出	[ 1,000,000]	[ 1,000,000]	[ 700,000]
1. 備品取得支出	( 1,000,000)	( 1,000,000)	( 700,000)
1. 備品取得支出	1,000,000	1,000,000	700,000
5. 特定資産繰入支出	[ 0]	[ 540,365,670]	[ 540,365,670]
1. 特定資産繰入支出	( 0)	( 540,365,670)	( 540,365,670)
1. 減価償却繰入支出	0	0	0
2. 法会事務局特会繰入支出	0	540,365,670	540,365,670
6. 予備費	[ 3,000,000]	[ 3,000,000]	[ 0]
予備費	( 3,000,000)	( 3,000,000)	( 0)
予備費	3,000,000	3,000,000	0
7. 次年度繰越収支差額	[ 0]	[ 2,180,000]	[ 21,420,000]
次年度繰越収支差額	( 0)	( 2,180,000)	( 21,420,000)
次年度繰越収支差額	0	2,180,000	21,420,000
合 計	198,370,000	748,015,670	745,572,670

議案第2号

## 令和2年度 専修寺歳入歳出予算

自 2.6.1  
至 3.5.31  
(単位 円)

歳入の部

科	目	2年度予算額	元年度予算額	元年度決算見込
1.	宗教活動収入	[ 257,050,000]	[ 262,500,000]	[ 258,846,000]
1.	諸進納金	( 90,400,000)	( 96,400,000)	( 88,126,000)
1.	進納所冥加金	3,000,000	3,000,000	2,332,000
2.	申物冥加金	80,000,000	85,000,000	78,438,000
3.	特別懇志金	0	0	0
4.	賽銭	7,000,000	8,000,000	7,356,000
5.	御染筆冥加金	400,000	400,000	0
2.	納骨堂冥加金	( 163,100,000)	( 162,500,000)	( 167,066,000)
1.	浄華台冥加金	60,000,000	60,000,000	60,956,000
2.	納骨堂加入冥加金	15,000,000	15,000,000	15,000,000
3.	納骨壇移転冥加金	100,000	0	100,000
4.	納骨壇永年管理冥加金	3,000,000	2,500,000	5,010,000

5. 懇 志 金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
6. 恭 敬 冥 加 金	80,000,000	80,000,000	81,000,000
3. 墓 地 冥 加 金	( 3,550,000)	( 3,600,000)	( 3,654,000)
1. 墓 地 管 理 冥 加 金	3,500,000	3,500,000	3,636,000
2. そ の 他 冥 加 金	50,000	100,000	18,000
4. 特 別 懇 志 金	( 0)	( 0)	( 0)
1. 特 別 懇 志 金	0	0	0
2. 資 産 管 理 収 入	[ 400,000]	[ 400,000]	[ 400,000]
1. 資 産 運 用 収 入	( 400,000)	( 400,000)	( 400,000)
1. 諸 利 子	400,000	400,000	400,000
3. 雑 収 入	[ 3,000,000]	[ 3,000,000]	[ 5,400,000]
1. 雑 収 入	( 3,000,000)	( 3,000,000)	( 5,400,000)
1. 雑 収 入	3,000,000	3,000,000	5,400,000
4. 特 定 資 産 取 崩 収 入	[ 101,547,910]	[ 440,365,670]	[ 440,365,670]
1. 特 定 資 産 取 崩 収 入	( 101,547,910)	( 440,365,670)	( 440,365,670)
1. 引 当 預 金 取 崩 収 入	100,547,910	0	0

2. 宝物館建設引当預金取崩収入	1,000,000	440,365,670	440,365,670
5. 前年度繰越収支差額	[ 0]	[ 167,000,000]	[ 167,000,000]
前年度繰越収支差額	( 0)	( 167,000,000)	( 167,000,000)
前年度繰越収支差額	0	167,000,000	167,000,000
合 計	361,997,910	873,265,670	872,011,670

## 歳出の部

科 目	2 年 度 予 算 額	元 年 度 予 算 額	元 年 度 決 算 見 込
1. 宗 教 活 動 支 出	[ 167,550,000]	[ 207,750,000]	[ 178,992,000]
1. 門 室 費	( 30,000,000)	( 30,000,000)	( 27,100,000)
1. 門 室 費	30,000,000	30,000,000	27,100,000
2. 維 持 費	( 39,050,000)	( 73,050,000)	( 61,428,000)
1. 護 持 費	10,000,000	10,000,000	7,537,000
2. 恭 敬 費	2,000,000	2,000,000	1,352,000
3. 定専上人・堯真上人年忌法会	0	2,000,000	1,981,000
4. 声 明 公 演 費	0	2,000,000	0
5. 事 務 費	4,000,000	4,000,000	3,740,000
6. 扱 待 遇 費	1,800,000	1,800,000	1,972,000
7. 団 参 清 掃 費	900,000	900,000	442,000
8. 協 賛 費	1,500,000	1,500,000	962,000
9. 申 物 購 入 費	6,000,000	6,000,000	4,201,000
10. 調 度 費	2,850,000	2,850,000	1,500,000



11. 文 化 財 保 存 費	10,000,000	40,000,000	37,741,000
3. 管 理 費	( 72,100,000)	( 77,800,000)	( 68,520,000)
1. 自 動 車 諸 費	2,000,000	2,000,000	1,083,000
2. 水 道 光 熱 管 理 費	12,000,000	15,000,000	12,044,000
3. 緑 化 管 理 費	3,500,000	3,500,000	3,888,000
4. 通 信 印 刷 費	5,000,000	4,500,000	5,553,000
5. 諸 消 耗 品 費	2,000,000	2,500,000	1,980,000
6. リ ー ス 料	500,000	1,000,000	426,000
7. 損 害 保 險 料	3,500,000	3,500,000	3,173,000
8. 土 地 借 用 料	800,000	800,000	800,000
9. 公 租 公 課	1,300,000	3,500,000	1,300,000
10. 警 備 費	5,000,000	5,000,000	4,259,000
11. 雑 費	1,500,000	1,500,000	1,014,000
12. 防 火 設 備 費	5,000,000	5,000,000	5,000,000
13. 営 繕 補 修 費	30,000,000	30,000,000	28,000,000
4. 納 骨 堂 費	( 6,800,000)	( 6,800,000)	( 6,368,000)

1. 法 会 費	3,800,000	3,800,000	3,560,000
2. 記 念 品 費	1,500,000	1,500,000	1,170,000
3. 納 骨 堂 清 掃 費	1,500,000	1,500,000	1,638,000
5. 墓 地 費	( 3,600,000)	( 3,600,000)	( 816,000)
1. 維 持 管 理 費	3,500,000	3,500,000	814,000
2. 諸 雜 費	100,000	100,000	2,000
6. 交 付 金	( 16,000,000)	( 16,500,000)	( 14,760,000)
1. 院 号 交 付 金	15,000,000	15,500,000	13,960,000
2. 納 骨 壇 加 入 交 付 金	1,000,000	1,000,000	800,000
2. 人 件 費	[ 159,100,000]	[ 143,600,000]	[ 159,349,000]
1. 給 料 手 当	( 159,100,000)	( 143,600,000)	( 159,349,000)
1. 諸 給 与	128,000,000	113,000,000	128,000,000
2. 備 人 費	2,500,000	3,000,000	2,123,000
3. 日 直 宿 直 費	3,200,000	3,200,000	3,108,000
4. 通 勤 補 助 費	4,400,000	4,400,000	4,340,000
5. 福 利 厚 生 費	21,000,000	20,000,000	21,778,000

3. 繰入金支出	[ 2,047,910]	[ 442,443,580]	[ 442,443,580]
1. 繰入金支出	( 1,000,000)	( 441,365,670)	( 441,365,670)
1. 高田派回金	1,000,000	441,365,670	441,365,670
2. 特別会計繰入金支出	( 1,047,910)	( 1,077,910)	( 1,077,910)
1. 専修寺聖教特会繰入金支出	1,047,910	1,077,910	1,077,910
2. 宝物館建設特会繰入金支出	0	0	0
4. 資産取得支出	[ 29,300,000]	[ 49,000,000]	[ 22,950,000]
1. 構築物取得支出	( 25,300,000)	( 45,000,000)	( 19,700,000)
1. 構築物取得支出	25,300,000	45,000,000	19,700,000
2. 備品取得支出	( 4,000,000)	( 4,000,000)	( 3,250,000)
1. 備品取得支出	3,000,000	3,000,000	3,000,000
2. ソフトウェア取得支出	1,000,000	1,000,000	250,000
5. 特定資産支出	[ 1,000,000]	[ 0]	[ 0]
1. 特定資産支出	( 1,000,000)	( 0)	( 0)
1. 退職給与引当	0	0	0
2. 減価償却引当	0	0	0

3. 納骨堂引当	0	0	0
4. 宝物館建設基金へ	1,000,000	0	0
6. 予備費	[ 3,000,000]	[ 3,000,000]	[ 0]
予備費	( 3,000,000)	( 3,000,000)	( 0)
予備費	3,000,000	3,000,000	0
7. 次年度繰越収支差額	[ 0]	[ 27,472,090]	[ 68,277,090]
次年度繰越収支差額	( 0)	( 27,472,090)	( 68,277,090)
次年度繰越収支差額	0	27,472,090	68,277,090
合計	361,997,910	873,265,670	872,011,670

議案第3号

## 令和元年度 特別法要歳入歳出補正予算

自 1.9.1  
至 2.5.31  
(単位 円)

歳入の部

科	目	本年度予算額	補正額	補正後予算額	備考
1.	宗 教 活 動 収 入	[ 50,000,000]	[ 10,300,000]	[ 60,300,000]	
1.	寄 付 金 収 入	( 0)	( 10,300,000)	( 10,300,000)	
1.	寺 院 懇 志 金	0	500,000	500,000	檀信徒懇志
2.	住 職 懇 志 金	0	6,000,000	6,000,000	住職懇志
3.	特 別 懇 志 金	0	3,500,000	3,500,000	企業、個人
4.	一 般 懇 志 金	0	300,000	300,000	総合案内所扱い
2.	宝 物 館 建 設 懇 志 金	( 50,000,000)	( 0)	( 50,000,000)	
1.	宝 物 館 建 設 懇 志 金	50,000,000	0	50,000,000	
2.	資 産 管 理 収 入	[ 10,000]	[ 0]	[ 10,000]	
1.	資 産 運 用 収 入	( 10,000)	( 0)	( 10,000)	
1.	諸 利 子	10,000	0	10,000	

3. 繰入金収入	[ 540,365,670]	[ 0]	[ 540,365,670]	
1. 繰入金収入	( 540,365,670)	( 0)	( 540,365,670)	
1. 繰入金収入	540,365,670	0	540,365,670	
合 計	590,375,670	10,300,000	600,675,670	

## 歳出の部

科 目	本年度予算額	補正額	補正後予算額	備考
1. 宗 教 活 動 支 出	[ 9,550,000]	[ 0]	[ 9,550,000]	
1. 記 念 行 事 費	( 6,000,000)	( 0)	( 6,000,000)	
1. 広 報 費	6,000,000	0	6,000,000	
2. 管 理 費	( 3,550,000)	( 0)	( 3,550,000)	
1. 会 議 費	500,000	0	500,000	
2. 通 信 費	500,000	0	500,000	
3. 印 刷 費	1,000,000	0	1,000,000	
4. 募 財 費	1,000,000	0	1,000,000	
5. 自 動 車 費	200,000	0	200,000	
6. 消 耗 品 費	100,000	0	100,000	
7. 交 際 費	50,000	0	50,000	
8. 雑 費	200,000	0	200,000	
2. 人 件 費	[ 9,550,000]	[ 0]	[ 9,550,000]	
1. 給 料 手 当	( 9,550,000)	( 0)	( 9,550,000)	

1. 諸 給 与	8,500,000	0	8,500,000	
2. 通 勤 補 助 費	200,000	0	200,000	
3. 福 利 厚 生 費	850,000	0	850,000	
3. 記 念 事 業 費	[ 351,000,000]	[ △335,000,000]	[ 16,000,000]	
1. 記 念 事 業 費	( 11,000,000)	( 0)	( 11,000,000)	
1. お 待 ち 受 け 法 会 費	1,000,000	0	1,000,000	
2. 記 念 出 版 費	10,000,000	0	10,000,000	
2. 宝 物 館 建 設 費	( 340,000,000)	( △335,000,000)	( 5,000,000)	
1. 建 設 工 事 費	320,000,000	△320,000,000	0	次年度へ
2. 設 計 監 理 費	15,000,000	△15,000,000	0	次年度へ
3. そ の 他 経 費	5,000,000	0	5,000,000	
4. 資 産 取 得 支 出	[ 2,500,000]	[ 0]	[ 2,500,000]	
1. 資 産 取 得 支 出	( 2,500,000)	( 0)	( 2,500,000)	
1. 資 産 取 得 支 出	2,500,000	0	2,500,000	
5. 予 備 費	[ 10,000,000]	[ 0]	[ 10,000,000]	
1. 予 備 費	( 10,000,000)	( 0)	( 10,000,000)	



1. 予備費	10,000,000	0	10,000,000	
6. 繰越金	[ 207,775,670]	[ 345,300,000]	[ 553,075,670]	
1. 次期繰越金	( 207,775,670)	( 345,300,000)	( 553,075,670)	
1. 次期繰越金	207,775,670	345,300,000	553,075,670	
合計	590,375,670	10,300,000	600,675,670	

議案第4号

## 令和2年度 特別法要歳入歳出予算

自 2.6.1  
至 3.5.31  
(単位 円)

歳入の部

科 目	本年度予算額	元年度予算額	元年度決算見込
1. 宗教活動収入	[ 165,500,000]	[ 60,300,000]	[ 60,320,000]
1. 寄付金収入	( 115,500,000)	( 10,300,000)	( 10,320,000)
1. 寺院懇志金	100,000,000	500,000	500,000
2. 住職懇志金	10,000,000	6,000,000	6,000,000
3. 特別懇志金	5,000,000	3,500,000	3,500,000
4. 一般懇志金	500,000	300,000	320,000
2. 宝物館建設懇志金	( 50,000,000)	( 50,000,000)	( 50,000,000)
1. 宝物館建設懇志金	50,000,000	50,000,000	50,000,000
2. 資産管理収入	[ 50,000]	[ 10,000]	[ 9,000]
1. 資産運用収入	( 50,000)	( 10,000)	( 9,000)
1. 諸利子	50,000	10,000	9,000

3. 雑	収	入	[	100,000]	[	0]	[	90,000]
1. 雑	収	入	(	100,000)	(	0)	(	90,000)
1. 雑	収	入		100,000		0		90,000
4. 繰	入	金	収	入	[	0]	[	540,365,670]
1. 繰	入	金	収	入	(	0)	(	540,365,670)
1. 繰	入	金	収	入		0		540,365,670
5. 前	年	度	繰	越	収	支	差	額
1. 前	年	度	繰	越	収	支	差	額
1. 前	年	度	繰	越	収	支	差	額
合			計					
				718,725,670		600,675,670		600,784,670

## 歳出の部

科 目	本 年 度 予 算 額	元 年 度 予 算 額	元 年 度 決 算 見 込
1. 宗 教 活 動 支 出	[ 50,900,000]	[ 9,550,000]	[ 3,666,746]
1. 記 念 行 事 費	( 46,000,000)	( 6,000,000)	( 1,000,000)
1. 記 念 品 費	40,000,000	0	0
1. 広 報 費	6,000,000	6,000,000	1,000,000
2. 管 理 費	( 4,900,000)	( 3,550,000)	( 2,666,746)
1. 会 議 費	500,000	500,000	130,000
2. 通 信 費	500,000	500,000	350,000
3. 印 刷 費	1,000,000	1,000,000	860,000
4. 募 財 費	2,000,000	1,000,000	810,000
5. 自 動 車 費	400,000	200,000	20,000
6. 消 耗 品 費	200,000	100,000	130,000
7. 交 際 費	100,000	50,000	0
8. 雑 費	200,000	200,000	110,000
2. 人 件 費	[ 15,700,000]	[ 9,550,000]	[ 7,760,000]

1. 給 料 手 当	( 15,700,000)	( 9,550,000)	( 7,760,000)
1. 諸 給 与	14,000,000	8,500,000	6,930,000
2. 通 勤 補 助 費	300,000	200,000	140,000
3. 福 利 厚 生 費	1,400,000	850,000	690,000
3. 記 念 事 業 費	[ 258,000,000]	[ 16,000,000]	[ 10,103,518]
1. 記 念 事 業 費	( 16,000,000)	( 11,000,000)	( 7,603,518)
1. お 待 ち 受 け 法 会 費	1,000,000	1,000,000	0
2. 記 念 出 版 費	0	10,000,000	7,603,518
3. 教 学 振 興 費	15,000,000	0	0
2. 宝 物 館 建 設 費	( 242,000,000)	( 5,000,000)	( 2,500,000)
1. 建 設 工 事 費	220,000,000	0	0
2. 設 計 監 理 費	22,000,000	0	0
3. そ の 他 経 費	0	5,000,000	2,500,000
4. 資 産 取 得 支 出	[ 300,000]	[ 2,500,000]	[ 1,960,000]
1. 資 産 取 得 支 出	( 300,000)	( 2,500,000)	( 1,960,000)
1. 資 産 取 得 支 出	300,000	2,500,000	1,960,000

5. 予備費	[ 10,000,000]	[ 10,000,000]	[ 0]
1. 予備費	( 10,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
1. 予備費	10,000,000	10,000,000	0
6. 繰越金	[ 383,825,670]	[ 553,075,670]	[ 568,937,768]
1. 次期繰越金	( 383,825,670)	( 553,075,670)	( 568,937,768)
1. 次期繰越金	383,825,670	553,075,670	568,937,768
合計	718,725,670	600,675,670	592,428,032

議案第5号

## 令和2年度真宗高田派共済会歳入歳出予算

令和2年6月1日から令和3年5月31日

【収入の部】

(単位：円)

科	目	本年度予算額	前年度予算額	差	異
財	産 収 入	[ 90,000]	[ 90,000]	[	0]
	預 金 利 子	10,000	10,000		0
	国 公 債 利 金	80,000	80,000		0
掛	金 収 入	[ 12,368,000]	[ 12,368,000]	[	0]
	寺 院 掛 金	11,900,000	11,900,000		0
	本 山 職 員 掛 金	468,000	468,000		0
繰	入 金 収 入	[ 1,000,000]	[ 1,000,000]	[	0]
	高 田 派 回 金	1,000,000	1,000,000		0
償	還 金	[ 1,300,000]	[ 2,000,000]	[	△ 700,000]
	償 還 金	1,300,000	2,000,000		△ 700,000
前	年 度 繰 越 金	[ 10,000,000]	[ 10,000,000]	[	0]
収	入 合 計	24,758,000	25,458,000		△ 700,000

## 【支出の部】

(単位：円)

科	目	本年度予算額	前年度予算額	差	異
給	付	金	[ 10,000,000]	[ 10,000,000]	[ 0]
祝	金	・ 見 舞 金	3,000,000	3,000,000	0
香		料	3,000,000	3,000,000	0
慰	勞	金	4,000,000	4,000,000	0
獎	学	金 ・ 獎 励 金	[ 3,200,000]	[ 3,200,000]	[ 0]
獎	学	金	3,000,000	3,000,000	0
獎	励	金	200,000	200,000	0
記	念	品 費	[ 1,300,000]	[ 1,300,000]	[ 0]
記	念	品 費	1,300,000	1,300,000	0
事	務	費	[ 420,000]	[ 420,000]	[ 0]
諸	手	当	370,000	370,000	0
雜		費	50,000	50,000	0
積	立	金	[ 2,000,000]	[ 2,000,000]	[ 0]



国 公 社 債 繰 入	2,000,000	2,000,000	0
予 備 費	[ 7,838,000]	[ 8,538,000]	[ Δ 700,000]
支 出 合 計	24,758,000	25,458,000	Δ 700,000

議案第6号

## 令和2年度 高田派法主褒賞特別会計歳入歳出予算

自 2.6.1  
至 3.5.31  
(単位：円)

歳入の部

科	目	本年度予算額	前年度予算額	増	減	備考
1.	維持資金	500	484		16	
	利子	500	484		16	預金利息
2.	法主褒賞特別基金取崩	500,000	0	500,000		
3.	雑収入	0	0		0	懇志等
4.	繰越金	568,770	568,286		484	前年度繰越金
	合計	1,069,270	568,770		500,500	

## 歳出の部

科	目	本年度予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1.	委 員 会 費	86,000	0		86,000	
	1. 委 員 会 手 当 旅 費	66,000	0		66,000	選考委員手当、 旅費
	2. 会 議 費	20,000	0		20,000	選考委員会昼食 代
2.	褒 賞 費	640,000	0		640,000	
	1. 記 念 品 費	600,000	0		600,000	受賞者記念品
	2. 扱 費	40,000	0		40,000	受賞者、招待者 接待費
3.	諸 雑 費	880	0		880	振込手数料
4.	次 期 繰 越 金	342,390	568,770		△226,380	次年度繰越金
	合 計	1,069,270	568,770		500,500	

\* 令和2年5月31日現在 積立基金合計 4,800,000円

議案第7号

## 令和2年度 専修寺聖教保存修理特別会計歳入歳出予算

自 2.6.1  
 至 3.5.31  
 (単位 円)

歳入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	内 訳
1. 国 庫 補 助 金	[ 1,970,000]	[ 1,927,000]	
国 庫 補 助 金	( 1,970,000)	( 1,927,000)	
国 庫 補 助 金	1,970,000	1,927,000	
2. 三 重 県 補 助 金	[ 358,000]	[ 375,000]	
三 重 県 補 助 金	( 358,000)	( 375,000)	
三 重 県 補 助 金	358,000	375,000	
3. 津 市 補 助 金	[ 179,000]	[ 175,000]	
津 市 補 助 金	( 179,000)	( 175,000)	
津 市 補 助 金	179,000	175,000	
4. 所 有 者 負 担 金	[ 1,047,910]	[ 1,077,910]	
所 有 者 負 担 金	( 1,047,910)	( 1,077,910)	

所有者負担金	1,047,910	1,077,910	
5. 雑収入	[ 0]	[ 0]	
雑収入	( 0)	( 0)	
雑収入	0	0	
合計	3,554,910	3,554,910	

## 歳出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	内 訳
1. 総 事 業 費	[ 3,460,510]	[ 3,460,510]	
請 負 費	( 3,410,110)	( 3,410,110)	
1. 人 件 費	1,534,000	1,534,000	
2. 原 材 料 費	32,100	32,100	
3. 直 接 経 費	1,534,000	1,534,000	
4. 消 費 税	310,010	310,010	
主 たる 事 業 費	( 50,400)	( 50,400)	補助事業分
1. 報 償 費	35,000	35,000	講師依頼
2. 旅 費	10,000	10,000	
3. 需 用 費	5,400	5,400	
2. そ の 他 の 経 費	[ 94,400]	[ 94,400]	
そ の 他 の 経 費	( 94,400)	( 94,400)	
指 導 監 督 旅 費	68,000	68,000	
需 用 費	26,400	26,400	
合 計	3,554,910	3,554,910	

令和元年度における学校法人高田学苑の決算は次のとおりですので、  
当学苑寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表

令和2年3月31日

学校法人 高田学苑  
(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	( 8,305,175,465)	( 8,630,259,210)	(△ 325,083,745)
有 形 固 定 資 産	( 6,722,055,532)	( 7,001,998,255)	(△ 279,942,723)
土 地	1,025,122,922	1,025,122,922	0
建 物	4,478,632,892	4,674,605,702	△ 195,972,810
構 築 物	826,896,520	896,009,349	△ 69,112,829
教育研究用機器備品	124,952,866	137,687,060	△ 12,734,194
管理用機器備品	7,393,511	8,992,294	△ 1,598,783
図 書	227,204,113	225,685,192	1,518,921
車 輛	1,933,230	3,976,258	△ 2,043,028
学 苑 林	29,919,478	29,919,478	0

特 定 資 産	( 1,488,769,005)	( 1,530,597,198)	(△ 41,828,193)
退職給与引当特定資産	262,490,000	312,490,000	△ 50,000,000
施設設備拡充引当特定資産	1,226,279,005	1,218,107,198	8,171,807
そ の 他 の 固 定 資 産	( 94,350,928)	( 97,663,757)	(△ 3,312,829)
借 地 権	2,257,500	2,257,500	0
電 話 加 入 権	1,285,980	1,285,980	0
施 設 利 用 権	355,950	427,140	△ 71,190
ソ フ ト ウ エ ア	547,560	972,000	△ 424,440
有 価 証 券	80,070,136	80,070,136	0
差 し 入 れ 保 証 金	350,000	350,000	0
長 期 前 払 金	9,483,802	12,301,001	△ 2,817,199
流 動 資 産	( 451,880,292)	( 939,230,158)	(△ 487,349,866)
現 金 預 金	303,527,842	750,692,652	△ 447,164,810
未 収 入 金	55,097,116	92,835,540	△ 37,738,424
前 払 金	242,712	274,296	△ 31,584



立替金	30,248,900	30,499,102	△ 250,202
修学旅行費預り資産	56,652,172	59,028,168	△ 2,375,996
卒業諸費預り資産	6,111,550	5,900,400	211,150
資産の部合計	( 8,757,055,757)	( 9,569,489,368)	(△ 812,433,611)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	( 257,329,216)	( 449,063,468)	(△ 191,734,252)
長期借入金	0	199,999,999	△ 199,999,999
退職給与引当金	257,329,216	249,063,469	8,265,747
流動負債	( 605,556,891)	( 1,118,489,081)	(△ 512,932,190)
短期借入金	199,999,999	199,999,999	0
未払金	38,272,705	538,086,128	△ 499,813,423
前受金	279,165,000	286,588,000	△ 7,423,000
預り金	25,355,465	28,886,386	△ 3,530,921

修学旅行費預り金	56,652,172	59,028,168	△ 2,375,996
卒業諸費預り金	6,111,550	5,900,400	211,150
負債の部合計	( 862,886,107)	( 1,567,552,549)	(△ 704,666,442)

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	( 12,654,353,423)	( 12,342,913,064)	( 311,440,359)
第1号基本金	12,482,353,423	12,170,913,064	311,440,359
第4号基本金	172,000,000	172,000,000	0
繰越収支差額	(△ 4,760,183,773)	(△ 4,340,976,245)	(△ 419,207,528)
翌年度繰越収支差額	△ 4,760,183,773	△ 4,340,976,245	△ 419,207,528
純資産の部合計	( 7,894,169,650)	( 8,001,936,819)	(△ 107,767,169)
負債及び純資産の部合計	( 8,757,055,757)	( 9,569,489,368)	(△ 812,433,611)

## 注記 1. 重要な会計方針

## (1) 引当金の計上基準

○徴収不能引当金・・・未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

## ○退職給与引当金

(短期大学)

退職金の支給に備えるため、期末要支給額 111,631,480円の100%を基にして私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

(中学校及び高等学校)

退職金の支給に備えるため、期末要支給額 1,053,006,736円 から三重県私学振興会より交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

## (2) その他重要な会計方針

## ○有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

## 2. 重要な会計方針の変更等

該当無し

3. 減価償却額の累計額の合計額	5,986,618,826円
4. 徴収不能引当金の合計額	0円
5. 担保に供されている資産の種類及び額	0円
6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金へ組入れを行うこととなる金額	200,848,447円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策  
 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

①総括表

(単位：円)

	当年度(令和2年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	480,070,136	502,326,089	22,255,953
(うち満期保有目的の債券)	(149,679,462)	(155,111,330)	( 5,431,868)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	591,511,806	564,692,995	△26,818,811
(うち満期保有目的の債券)	(591,511,806)	(564,692,995)	(△26,818,811)
合 計	1,071,581,942	1,067,019,084	△ 4,562,858
(うち満期保有目的の債券)	(741,191,268)	(719,804,325)	(△21,386,943)
時価のない有価証券	-		
有 価 証 券 合 計	1,071,581,942		

## ②明細表

(単位：円)

種 類	当年度（令和2年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債 券	891,511,806	891,963,000	451,194
株 式	40,390,674	51,251,759	10,861,085
投 資 信 託	139,679,462	123,804,325	△15,875,137
貸 付 信 託	-	-	-
そ の 他	-	-	-
合 計	1,071,581,942	1,067,019,084	△ 4,562,858
時価のない有価証券	-		
有 価 証 券 合 計	1,071,581,942		

教学院だより

令和元年度活動報告

教学院が年間を通じて取り組んでいる活動について報告致します。まず、毎年十月末日には、教学院研究発表大会を開催しています。今回で二十四回目となる研究発表大会は十月三十一日(木)に開催されました。発表題目と発表者は次の通りです。

一、解脱坊貞慶は何を信仰していたのか

第一部会 中村 宜成

二、「近角常観と現代」

―激動近代の仏教とその教訓―

第二部会 浦井 宗司

三、 真宗高田派および専修寺に於ける

紋章についての私見

第三部会 岡 知道

四、 親鸞聖人の思索と表現

―国宝本『正像末法和讃』第四首をめぐる―

第四部会 佐波 真

午後からは、従来行われていた三重県文化財保護活動の一環として実施される「三重県地域文化財総合活性化事業」の講演会にわかり、教学院が開催する特別講演が開催されました。講師は浄福寺住職で前総務の鈴木紀生氏に「教誨師をふりかえて」と題して、講演していただきました。今回の発表については『教学院紀要』に内容をまとめた文を掲載いたします。また、教学院の発行する「教学院報」は年四回の発行予定です。

教学院の各部会の活動は次の通りです。

### 第一部会

令和二年度、真宗教団連合作成の法語カレンダーの法語を研究員が解説した『月々の法語』の編集と出版を行いました。また、平成二十三年よりはじまりました「真宗入門講座」を今年度も開催致しました。しかし、令和二年に世界的に流行した新型感染症により第三回以降は無期限の延期となっております。再開については現在、検討中です。

### 第二部会

毎年、夏に開催している「現代と仏法を考える集い」は今年、二十三回目となりました。今年は八月二十八日に「医療と仏法」―医療現場の問いを抱えて仏教を学ぶ―をテーマにして講師を招いて討議を行いました。また、全末寺の布教活動に資するため掲示伝道ポスターの作成に取り組んでいます。

### 第三部会

毎年、開催しております「布教伝道講座」を開講いたしました。この講座は年四回の予定で開催しております。最初の二回の講座は講師を招いて聖典や住職道について講義を行いました。後半の二回の講座で、毎回二名の実演者による法話をもとに相互研修を行いました。また、毎年開催を予定しておりました「布教伝道大会」は新型感染症による緊急事態宣言をうけ中止といたしました。

宗務院発行の「本山だより」に研究員が執筆した「釈尊シリーズ」を掲載しています。

### 第四部会

宝物館での「特別展観」をお七夜期間中と夏の「文化講座」期間中に開催しています。また、「新指定重要文化財講座」を毎月第四木曜日に開催しています。講師は新光晴研究員が担当いたします。今年度は『高田聖典索引』を発行いたしました。

褒賞授与式 報告

本年はコロナウイルスの関係により、例年五月二十一日に行っていた表彰式は中止となりました。

本山褒賞を受賞されました方々四名、本年の檀信徒で祖師寿賞を授賞された方々は総勢二百二十七名でした。今後とも授賞されました皆様の益々のご活躍・ご健康を念じております。

令和二年度 佛教文化講座

令和二年度 仏教文化講座講師

【第一日】八月一日（土）

法主殿御親講

【第二日】八月二日（日）

講師…学習院大学名誉教授 高埜 利彦  
講 題…江戸時代の宗教と専修寺

【第三日】八月三日（月）

講師…龍谷大学教授・本願寺派勸学

深川 宣暢

講 題…他力仏教の構造

―世界の中の浄土真宗―

【第四日】八月四日（火）

講師…宗教学者 正木 晃

講 題…日本仏教はなぜ多様なのか

―多様性がもたらす仏教の未来形―

【第五日】八月五日（水）

講師…真宗高田派正泉寺住職 北島 恒陽  
講 題…葬祭と仏教



令和二年度  
高田短期大学仏教教育研究センター  
仏教基礎講座（高田本山寄附講座）  
実施要項

高田短期大学仏教教育研究センターでは、第九回目となる仏教基礎講座（高田本山寄附講座）を、来る八月に開催いたします。多くの皆様のご受講をお待ちしています。

また、本講座は高田本山の教師検定講習Ⅰを兼ねております。

講座の日程

・ 期 間 八月十七日（月）～二十一日

（金）五日間

・ 場 所 高田短期大学 教室

・ 対 象 寺族および一般

・ 受講料 無 料

・ テキスト 実費負担

・ 時 間 九時～十七時五十分

（高田短期大学の授業時間に準じる）

\*最終日は講義と試験になります。

各講座担当者と内容

仏教学

講 師 栗原 廣海

（仏教教育研究センター研究員）

講義内容… 釈尊の生涯を概観し、二十九歳で出家された釈尊が何を求められたのか、六年の修行の後ブツダとなって私たちに何を教えようと考えたのかを学ぶことを通して、仏教とは何か、仏教を学ぶ意義とは何かについて考えたいと思います。

真宗学

講 師 松山 智道

（仏教教育研究センター長、

高田短期大学特任講師）

講義内容… 親鸞聖人の本願他力の思想について学びます。また、聖人は「智慧光のちからより

本師源空あらわれて 浄土真宗をひらきつつ選擇本願述べたもう」と明かしておられますように、聖人の思想は七高僧の教えが背景となっています。したがって、七高僧の教えを併せ学びながら、「真宗の救い」の内容を吟味したいと思います。

仏教史

講 師…金信 昌樹

(仏教教育研究センター研究員、

高田短期大学非常勤講師)

講義内容…仏陀釈尊によって開かれた仏教は、中国に伝わり歴史的展開を見せ、その仏教が朝鮮へそして朝鮮を経由して日本に伝わった。その後中国から直接日本に伝えられ、歴史的展開を見せて今日に至っています。日本においてどの様に仏教が展開したのかその歴史を学び、その問題点を考えたいと思います。

真宗史

講 師…清水谷 正尊

(仏教教育研究センター研究員、

高田短期大学非常勤講師)

講義内容…親鸞聖人が、真仏上人や顕智上人に直接教えられたみ教えは、その後高田派の歴代上人を始め、念仏を喜ばれた人々によって連続と伝えられ、今日の私たちにまで届けられました。その念仏者たちの長い歴史を具体的に学ぶことで、私たちがみ教えに遇わせていただいたことの意味を考えてみたいと思います。

高田の歴史と法宝物

講 師…新 光晴

(仏教教育研究センター研究員、

高田本山宝物館主幹)

講義内容…高田専修寺の法宝物は、宗祖親鸞聖人直筆の名号本尊や聖教と、関東下野の高田門徒を率いた真仏・顕智両上人の書写本を根幹としています。これら鎌倉時代中・後期に醸成された原資料を用いて初期真宗の概要を示すと共に、これ以後の高田派における真宗史の展開を同時代の資料に依って解説したいと思います。

申し込み方法

教師検定講習Ⅰとして受講される方

本山指定の受講要項に準じて下さい。

一般受講の方(既に教師資格をお持ちの方)

科目を選択して受講することができます。

受講科目の三分の二以上を出席いただいた方には「受講証明書」を発行します。また、受講科目の全てに出席いただき、試験に合格された方には、該当科目の「単位修得証明書」を発行します。

「単位修得証明書」が発行された科目は、今後、高田派教師検定の審査を受けられる場合に、該当科目の試験が免除となる場合があります。

受付期間：七月一日(水)～七月三十一日(金)

申込方法：ハガキ、FAX、メール

申込内容：氏名(ふりがな)、性別、年齢、住所、

電話番号 受講科目名(科目を選択して

受講の方のみ記入)

昼食の希望(〇日～〇日)

ご応募いただいた内容は、個人情報保護のため完全に保管し、本講座以外の目的には使用いたしません。

申込先：〒五一四一〇一一五

三重県津市一身田豊野一九五番地

高田短期大学仏教教育研究センター

基礎講座係

TEL 〇五九一三三二一三三〇(代表)

FAX 〇五九一三三二一六三二七

E-mail b-center@takada-jc.ac.jp

テキスト等の詳細につきましてはお問い合わせ下さい。

二〇二〇年

教師検定講習Ⅰ受講要項

教師資格を取得するには原則教師検定講習Ⅰ及び講習Ⅱの全日程への出席が審査の前提となりましたのでご注意ください。

ただし、真宗高田派宗制第二百十三条に該当する者（真宗学、真宗史、仏教学、仏教史の学力を有すると認定された者）は教師検定講習Ⅰが免除となります。

- 一、講習期間 八月十七日（月）  
                    ～ 二十一日（金） 五日間
- 二、会場 高田短期大学
- 三、提出書類 ①教師検定講習Ⅰ受講願（本山所定の用紙）
- 四、申込み方法

必要事項を記入の上、宗務院へ直接お持ちいただくか、郵送又はFAXにてお申し込み下さい。

- 五、締切り 七月末日（必着）
- 六、講習Ⅰ受講料 無料
- 七、講習内容

高田短期大学仏教教育センター主催の仏教基礎講座（高田本山寄付講座）に準じる。  
講習の詳細につきましては、受講申込締切後郵送にて連絡いたします。

- 八、その他
    - ・高田短期大学での科目等履修生制度により定められた科目の単位取得者は講習Ⅰでの試験が免除されます。
    - ・最終日に試験を行います。試験に合格された方には「単位修得証明書」を発行します。
- この証明書が、教師検定講習Ⅱの受講資格となります。  
・各科目、一回でも欠席すると、その科目は不合格となります。不合格の場合、翌年以

降、該当科目を再受講していただきます。  
・宿泊希望の方は、各自で手配して下さい。  
会場までは津駅および高田本山大駐車場より送迎バスを運行します。  
詳しくはお問い合わせ下さい。

お問合せは本山宗務院教学部まで

電話 〇五九一三三二一四一七一

FAX 〇五九一三三二一四一四一

[kyo-gaku@senjuji.or.jp](mailto:kyo-gaku@senjuji.or.jp)

## 本山行事予定

(七月・八月)

八月一日～五日

仏教文化講座

八月十四日～十六日

歓喜会



## 下付金のお知らせ

平成二十六年 度分院号下付金、及び納骨壇加入下付金を専修寺正味財産に計上いたしました。

(令和二年五月三十一日付)

院号冥加金、及び納骨壇加入冥加金の下付金は納入された年度から、五か年を経過したものは、専修寺正味財産に計上されるため、交付出来ませんのでご注意ください。

詳しくは宗務院財務課までお尋ね下さい。

## 本山納骨について

■待合時間の短縮および混雑緩和のため、納骨受付は予約制となります。

翌月末までの予約が可能です。

ご予約はお電話にてお願いします。

■新型コロナウイルス感染防止のため、当分納骨受付組数を限定させていただきます。

出来ましたら、一組十名以内でお願いします。

■ご予約・お問い合わせ先

納骨のご予約・お問い合わせは総合案内所でお受けします。

電話 ○五九一三三二一七二三三四

(午前九時より午後四時まで)

真宗高田派共済会のご案内

● 全寺院対象の共済制度 ●

真宗高田派共済会運営規程による給付金制度

○災害見舞金制度

- ・ 本堂全焼及び全壊 100万円
- ・ 本堂半焼及び半壊 60万円
- ・ 庫裏全焼及び全壊 60万円

※災害を証明する書類等が必要です

○祝金制度

- ・ 本堂新築及び改築 60万円
  - ・ 本堂を除く境内建物の新築及び改築 10万円
- ※高田派代表役員の新築・改築承認書と工事契約書の写しが必要です。尚、工事費が壱千万円以上の場合となります。

○住職死亡の場合

在任期間により給付金が異なります

- ・ 住職在任 40年以上 50万円
- ・ 住職在任 30年以上40年未満 40万円
- ・ 住職在任 20年以上30年未満 30万円
- ・ 住職在任 10年以上20年未満 20万円
- ・ 住職在任 10年未満 10万円

○住職退職の場合

上記死亡の場合を適用します。

給付及び申請のお問い合わせは、下記の共済会担当までお尋ねください。

〒514-0114

三重県津市一身田町2819番地

真宗高田派宗務院内

真宗高田派共済会

電話 059-232-4171

FAX 059-232-1414

## 人権擁護啓発活動重点項目

- 一、国際時代にふさわしい人権意識を育てよう。
- 一、子どもの人権を守ろう。
- 一、高齢者の人権を尊重しよう。
- 一、病気・部落などによる差別をなくそう。
- 一、障害者の完全参加と平等を実現しよう。

「三重県人権教育基本方針」より抜粋



令和二年六月二十五日印刷  
令和二年六月二十五日発行

三重県津市一身田町二八一九番地  
電話（〇五九）二三三―四一七一  
<http://www.senjui.or.jp>

真宗高田派本山専修寺

発行所 **宗務院**

振替〇〇二五〇―〇一五一九四番

三重県津市一身田町七六五番地

印刷所 **相和印刷所**

電話（〇五九）二三三―二〇七〇